

平成 26 年 12 月 発行

木童 東京ショールーム

open 月～金 10:00-18:00 土 11:00-17:00
close 日・祝(事前予約いただければ日祝の見学も可能です)

東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティ 1F
TEL:03-5358-5125 FAX:03-5358-5126
URL:http://www.kodoh.co.jp

木童 神戸事務所 兵庫県神戸市北区大沢町篠 437
TEL:078-954-0072 FAX:078-954-0257
E-mail:muku@kodoh.co.jp

★石見あかまつ

島根県に94年続く赤松専門の製材所「石東林業商会」さんとのお付き合いが始まったのが約5年前。これまで構造材を中心に販売してきましたが、今回オリジナルの床材を発売することになりました。**巾180mm×厚15mmの上小無節の床材です。**

製品開発については、「**継続的に作り続けることが出来る**」&「**魅力ある製品とする**」ため、作り手からの都合だけでなく、木童からもたくさん意見を出しました。特に乾燥工程と加工工程には「あ～うるさい」と言われるぐらい口を出させてもらいました。無節を選択したのは、節の補修の手間と選別した際の口入の多さを考えた結果、市場にあまり同等の製品がないためです。

また、加工機の購入と設置にも協力しました。これまで床材や壁材を作っていたのですが、トラックに載せて1時間半かかる加工工場まで持ち込んでいたそうです。それでは生産コストが掛かりすぎて工場が儲かりませんし、製品の精度も安定しません。自社で加工できる機械を持つことは必須だと考えたからです。



▲製材所の松井社長。若さとやる気に期待です。

今回は、静岡の代理店さんから依頼された産地ツアーの添乗者として同行したのですが、生産加工工程の確認という目的もありました。というのも、先日納品した床材が少し間隙が出来たと聞いたからです。工程は木童の指示通りやっているとされていたので、何が原因かわかればという思いでした。結果としては、工程の中でしばらく板を休ませる時間(養生期間)が、勘違いで確保できていなかったことが判明しました。その部分を修正することで、改善されるだろうと期待しています。

またホームページやカタログで製品案内しますので、その際にはよろしくお願いたします。



新規導入したモルダー設備。これで床材をつくる。



1820*180*15mm 迫力の寸法です。

★新しい産地の予感がします

続けて産地を訪ねての話題第2弾です。懇意にしている設計事務所より「**和歌山県で新築する物件があるので、地元材・長ホソ込栓仕様で木童さんの目にかなった木材をお願いしたい**」と要望を頂きました。要望されればそれに応えたいというのが木童の想い。これまでもそんな経緯でたくさんのネットワークを作ってきました。今回はまったく縁のない和歌山(紀州)材ということだったのですが、偶然にもその数日後、県庁の木材振興課の方が東京ショールームを訪ねたいと連絡を頂き、お話する機会に恵まれました。そして翌日、メールでこれと推せる製材所を数社紹介できると連絡がありました。

早速、神戸事務所のスタッフと共に和歌山へ。途中で担当者と合流し、製材所を訪問しました。流石に県から推薦いただくだけあり、乾燥された製材品の状態はなかなか良い物でした。そして、ここならと思われる製材所に今回建築予定の物件のデッサンをお渡しし、次回は設計士さんとの訪問を約束して帰路につきました。

最近の木材運送が難しくなっていることは木童通信(vol.53)でも書きましたが、木童神戸事務所から陸路で2時間強の距離に、乾燥材を出せる製材所と出会えたことは木童にとっても利のあることでした。また、良い丸太を仕入れているので、構造材だけではなく、造作材といわれる床以外の内装の仕上げ材を要望に合わせて製材できるというのも魅力です。今回のご縁に感謝です。



KODOH NEWS

年末年始休業のお知らせ

神戸事務所・東京ショールームとも 12/28(日)～1/4(日)まで冬休みをいただきます。この期間ご来店のご予約はお受けできませんので、ご了承ください。

HPでの通信販売開始のお知らせ

家具と塗料について、ホームページからもご注文しやすいよう専用フォームを設けました。ぜひご利用ください!

★家づくり現場レポート① 設計・施工：スタジオエイト ～オビ赤杉・球磨杉～

横浜を中心に活躍されているスタジオエイトさんは、監督兼棟梁の三品さんと建築家である木内さんの二人の事務所です。昨年末に初めて宮崎のオビ杉の構造材を納品して以来、1年間で3物件納めさせてもらいました。今回は3人でプレカット打合せを兼ねて初めて宮崎を訪ね、そこでどこまで加工が出来るのか、どんな人々がどんな想いをもって生産しているのかを見て、話して理解して貰いました。いつもスタッフからはその想いや仕事ぶりをお伝えしているつもりですが、実際にご覧頂いたことで、より製品に対する信頼度も増したことと想います。

今回の建て主Oさんは、10年以上前から自宅を建てる時には大工は三品さんに！と決めていたそうです。ご自身で設計もされる方で、設計は木内さんと共同設計されています。ご自宅だけあって家の様々な所にこだわりを持っているOさんからも、木童の材はOKをもらうことができました。今回も無事、産地と建て主の想いをつなぐ役割を果たせたかなと感じています。



(左) 1棟目K邸

(中) 2棟目I邸

(右) 3棟目O邸

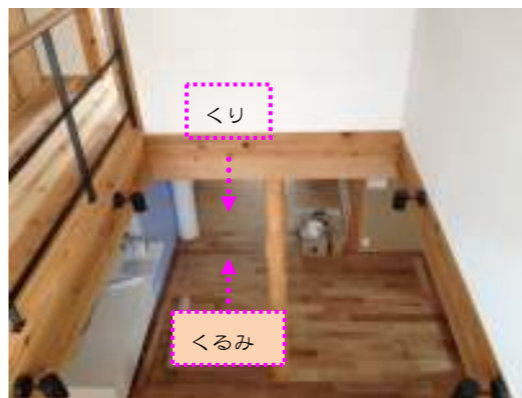
★家づくり現場レポート② 設計：ローバー都市建築設計

ご主人のMさんは設計士さん。ご自宅を建てられる計画が出たのはもう3年前でしたが、お仕事が忙しくなかなか進まず…。やっと形になった、木が好きなMさんの家は、本当にたくさんの木童の木を使ってくださいました。

構造材は高知の杉。木目が美しく品があります。実は、構造材は宮崎の杉・熊本の本杉と3種類提案したのです。価格は高知の方が1.3倍ほど高かったのですが、原木の価値が違う、それだけの値打ちのあるものだということをご理解いただき、高知材の採用となったのです。(そういうことに価値観を持ってもらえる方だと思ってのご提案でした。)その後ご家族3人で産地見学にも行っていただきました。

メインの床材は好みが出たものの、結局くるみ(ご主人)もくり(奥様)も仲良く並んで張ってあります。幅も同じ、加工工場も同じ材なので、見切りも入れずに張ったことで、より自然に仕上がりました。オープンハウスの時にもたくさんのお客さんがありましたが、言わないと誰も気付かないほど。

キッチンのところは大胆にヒバに張り替え、階段は源平パネルを浮作り加工したもの、2Fの居室は相生杉の厚30mmと、木童からご提案した木材をほぼ採用していただいた形です。たくさんの木が使われても、設計力・デザイン力でこんなにうまくまとまるものかと感じた物件でした。



くり

くるみ



ひば

くるみ



KODOH NEWS

企画展のご案内 [木童オペラシティショールーム内]

- 第181回企画展 12/1(月)～20(土)「家を作ろう展3」
一般社団法人 建築家住宅の会
 - 第182回企画展 H27.1/9(金)～1/24(土) 湘南の建築家3人展
佐山建築研究所・天工舎・波多周建築設計
 - 第183回企画展 1/26(月)～1/31(土)
NPO 法人木の家だいきの会
- ※木童通信をHPよりダウンロード出来ます。バックナンバーをご希望の方はこちらをご利用下さい。